

台風の復興状況を視察

熊谷知事 3首長と直接意見交わす 就任後初

熊谷俊人知事は27日、おととしの台風15号で大きな被害を受けた館山市、南房総市、鋸南町の被災地を訪れ、復興状況を視察した。知事就任後、安房地域を訪れるのは初めて。各市町の首長の説明を聞きながら、住宅

修繕や農家の現状を把握した熊谷知事は、「市町村と一緒に、安房地域の被災地にもう一度人が戻ってくるようなまちづくりをしていくことが重要だと実感した」と語った。

熊谷知事は午前、館山市内で最も被害が大きい、約8割の住宅が被災した富崎地区を視察。神輿蔵が倒壊し、神輿が大破する被害のあった布良崎神社や、周辺の住宅の復旧の様子を見て回った。

午後には、出荷の最盛期を迎えている南房総市富浦町青木のピワヤカーネーションの農業用ハウスに足を運んだ。熊谷知事がピワを試食し、「おいし」と笑みをこぼす場面も。ピワ農家の岡本正さん(71)は「出荷量は被災前の1割にも満たない。元の状態に戻るには10年ぐらいは



住宅の修繕状況などを視察した熊谷知事(左)＝鋸南



ピワ農家から現状を聞く熊谷知事(左)＝南房総

かかる」と説明。被災後、安房地域のピワ園の約2割が栽培を諦めたといった深刻な状況を聞き、熊谷知事はぜひ生産を続けて、おいしいうちを全国に出荷していただく。ピワをバックアップします」とエールを送った。

その後、約7割の住宅が被災した鋸南町では、特に甚大な被害を受けた岩井袋地区を訪問。町の担当者から、「岩井袋では、被災後に地区外へ移り住むなど、被災前と比べ世帯数が2割減少している」と説明を受けていた。

視察後、記者団の取材に応じた熊谷知事は「8～9割、復旧復興が進んできている」と話し、被災により加速した人口減少を食い止めるために、雇用の重要性を強調。「農業も含めた経済の活性化、雇用の確立に力を入れ

ていきたい」と抱負を語った。さらに、熊谷知事が目指す「防災県」の確立について、「2市1町の市長町長からも話があったのは、情報の部分。被災地の実情を県庁がすぐに把握して、機動的に動けるような体制を普段から構築しておくことが重要」と述べた。